



のっぽの手

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル
 TEL 024(528)1211 FAX 024(528)1218
 E-mail center@f-npo.jp
 URL http://www.f-npo.jp/

NPO支援を巡って熱い討論 「ふくしまNPO塾」開かる

理事長 清水 修二

東京の「NPO事業サポートセンター」等から、「市民活動への有力な支援者が現れたので、各地の意欲的なNPOと支援者を引き合わせたい」との趣旨で「NPO塾」の開催を打診され、本センターが現地事務局を務めて3月6日にそのイベント（意見交換会）を開催しました。支援者というのは「チャリティ・プラットフォーム」という新しいNPOで、資金提供を申し出ているのは（村上ファンドで知られた）村上世彰氏です。意見交換会には村上氏も出席し、社会貢献活動に資金を提供したいので、「世の中を変える」ような意欲と能力を有するNPOを求めている、との積極的な発言をされました。会合には、本センターの呼びかけで16のNPOが県内各地から参集し、グループ討論と全体討論の場で熱い意見交換が展開されました。

当初は「人材育成のために各地に塾を立ち上げ、そこへ資金を提供する」との話でしたが、村上氏としてはパワフルなNPOにストレートに支援をしたいという意向が強いとの印象を私は受けました。村上氏の意図と論理はきわめて明快です。喉から手が出るほど資金の欲しいNPOとしては良い話ではあります。しかし支援者側が望んでいる「社会変革」のビジョンについて、あるいはNPOへの資金援助の方法について、なおいろいろ議論しなければならないことが多いと感じました。

この事業が今後どう展開するかはまだ分かりません。支援者であるチャリティ・プラットフォームが今回の巡回イベントを踏まえてどんな方向性を打ち出すか、それがポイントでしょう。人材育成のための援助が実現するのであれば、今回の会合を良い機縁にして県内NPOのネットワークを強化するチャンスになると考えています。



愛でるところ

ふくしま情報ステーション 齋藤 美佐

越冬した枝先が一斉に芽吹く希望の春がきました。ふくしま情報ステーションは連日100名を越す勢いで利用者を迎えています。混雑を避けるために2月末から「お花見コーナー」を特設したところ、蜜を求めるミツバチの如く、ほとんどの利用者がコーナーに直行するなど、反応は上々です。桜情報を求める多くの利用者と桜色に染まったポスターやチラシを眺めていると、日本人はほんとうに“桜”が大好きなんだなぁと実感する毎日です。

日本人が誇れるのは桜の花はもちろん、その桜を「愛でるところ」ではないでしょうか。美しいものやすばらしいものが目の前にあっても、そこに響くところを無くしては、大切なものは継承されません。

「愛でるところ」に笑顔の花を咲かせたくて、きょうも私たちは花咲き案内人になるために、朝9時に巻き上がるシャッターを見上げています。

奥会津で気を吐く「奥会津書房」の活動

話題提供：遠藤 由美子氏（奥会津書房編集長）



福島市はまだ底冷えのする寒い時期にあります。今回は、もっと雪深い寒さの厳しい三島町から、「奥会津書房」編集長の遠藤由美子さんをお迎えして熱い話を伺いました。何よりも書籍に賭ける熱い想い、そして奥会津の生活風習を師と仰ぎ、そこから学んだことを100年先の子供たちに伝えたいとする熱い志が披瀝されました。

これから毎年1冊ずつのペースで『会津学』として10冊のシリーズものを世に出して行きたいという抱負が述べられましたが、その発想のきっかけは、昭和村で募集したからむしの織姫が、地元奥会津に嫁ぎ、その嫁ぎ先で歳時記(年中行事)を記録したことが発端になっているということでした。そして、その記録を読んだご近所の人々が、家々で微妙に差異があることに気がついて、さらに関心を集めるようになったということでした。

NPOとの関係では、自治体や企業から補助金や助成金をもらって本を出版した場合、有料で本を売ることができないという問題があり、法人格を取得して補助金や助成金を取得しやすい組織体制にするメリットが必ずしもみられないこと、仮に法人格を取得して組織の維持を優先することになると、多分に本を編むという本来業務以外の余分な仕事が増えてしまうのではないかという心配があることなど、いまのところNPO法人にするための積極的理由が認められないということでした。

私としては、NPO法人にするかどうかは別にして、せっきやく会員制も導入していることでもあるし、おそらく活動趣旨に賛同する人も潜在的には多いはずなので、長期戦になることを想定すると、その辺を追い風に変えてもう少し楽な組織運営にもっていけないものかという感想をもった次第です。

(文責 星野 珙二)

県北NPOネットの解散総会

去る3月30日の午後に県北NPOネットの解散総会がありました。私ども“ふくしまNPOネットワークセンター”からは清水理事長、佐藤副理事長、私（斉藤）の3人が出席しました。この県北NPOネット代表の斎藤實さんは当ネットワークセンターの理事を勤めた方で、平成15年5月の設立をしてから、ずーっと代表をされてきましたが、昨年、体調を崩され、代表辞任を申し出ていたということがあります。それを受けて、平成19年度の事業が一区切りついたところで、当初の目的は達したということで発展的な解散提案となりました次第です。

総会の中では手続き等について、一部、注文が出されましたが、一応、出席者（委任状含む）の賛成を得ることができまして、無事、終えることができました。その間、毎年“市民活動フェスティバル”を福島市と地域の他の諸団体との連携の下に実施し、平成18年、19年はNPO法人飛行協会とも連携し、スカイパークで大々的に行われ、2万人を超えるお客さん（参加者）を集めて大成功となりました。斎藤實さんは、そんな企画、実行の切り盛りの中心として、大活躍をされてきましたが体調を崩されて、第一線を退くことは返す返すも残念と言わざるを得ません。

（最近のご様子では8割くらいまでは戻ったと言っています。）最後に感謝の意を込めて、花束の贈呈がありました。

当初は県北地方のNPO,市民活動団体の相互の交流等情報の交換等を年頭において、全県的なネットワークも構想していましたが、なかなか難しく途中までの結果となりました。そのあたりは当ネットワークセンターが引き取って各分野のNPO,市民活動団体の交流の場を提供するような企画が作ればよいなあと思います。また、そのような交流の場を望むような声も多々あるのも事実です。中間支援NPOの当ネットワークセンターとしては、そのような声を聞いて、まずは、県北地方のNPO諸団体が交流、連携を通してさらに自己を含めて、地域全体の市民活動団体の力が向上する手助けができれば中間支援NPO法人としての当センターの存在価値もあるというものです。そのようにありたいと願うものです。

(記 斉藤 健)

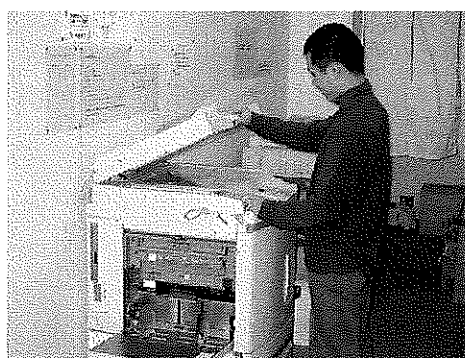
動き出すふくサポをおもう

福島市市民活動サポートセンター 古山 郁

平成17年3月4日の開設から丸3年。先月行われた運營業務のプロポーザルにて第1位を獲得し、おかげさまで来年度も引き続き受託することが出来ました。思い返せば、ふくサポオープン当日は大変な雪降りの寒い日でした。創設に尽力なさった方々や市の関係者を始め、たくさんの人たちが駆けつけてくださいましたが、私は誰が誰かもわからず、ましてやNPOって？とまっさらな新人の如くその場にいたことを思い出しました。それから3年は本当にあっという間に過ぎました。市民活動支援というサービス業の術が薄々身についてきたような気はしますが、これでいいのだろうかと思ひ立ち止まり、思いを巡らす時間はあまり持てなかったようにも思います。

今回のプロポーザルで、ネットワークセンターは“アグレッシブなふくサポ”を目指すことを明言しました。これまでのように「来館者に対するサービス」ばかりではなく、「地域へ出かけて提供するサービス」にもチャレンジすることは、簡単に言えば「営業力の強化」に尽きると私は受け取っています。確かにふくサポの認知度はまだまだ低いと推測します。市内及び県北地方に公益活動支援の拠点があることを確実に伝え、浸透させていくためのアプローチの仕方は様々あると思いますが、私個人としては、現時点で大きな鍵を握っているのは市（或いは県）への仕掛けではないかと考えており、担当課のみならず関連部局を積極的に巻き込みながら展開することによって、自治体内もまた自然横断的に繋がっていくのではないかと思ひ描いています。

いわば第1期が終わり、第2期が始まるわけですが、これからが評価の分かれるところであり、最も試練の多い「期」と言えるかもしれません。ネットワークセンターの理事5名による“ふくサポ運営チーム”も結成され、本格的な運営体制を敷くことになりました。試行錯誤の新年度になりそうですが、会員の皆様の叱咤激励を切にお願い致します。

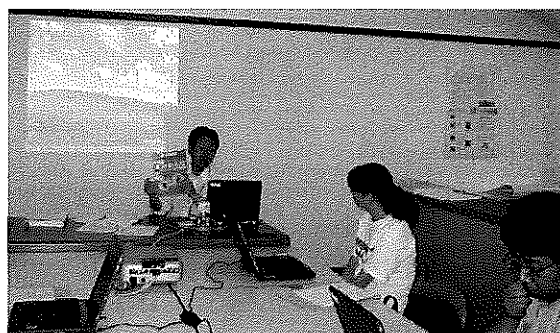


パソコン講座、より実践的な内容に

前年度よりスタートしたパソコン講座も、3月の時点で13回が終了しました。現在は「ワード2003入門講座」「エクセル2003入門講座」「パワーポイント2003入門講座」を実施していますが、それ以外の講座の要望もたくさん頂戴しました。「エクセルの上級講座をやって欲しい」「はがき作成を覚えたい」「電子申告を教えて欲しい」といったものが多く寄せられ、期待の大きさを感じました。

先日もマイクロソフト社より「ICTマスター for NPO」「ICTスクール for NPO」のプログラムが発表され、開発サイドのマーケットの変化も伺われます。

当講座では次回よりOffice Specialist 2003試験の対策講座を実施する予定です。知識があってもそれを活用できなくては意味がありませんし、スキルがあると口で言っても説得力がありません。また何より学習の目標にもなります。実社会で通用する実践的なスキルの習得に挑戦してみませんか？（記 渡辺 卓也）



ふくしま情報ステーションから

◆お花見コーナー◆

お花見コーナーを設置しました。福島の“春”をお楽しみください。

※詳細は <http://www.machi-fukushima.jp/>
または下記までお問い合わせください。
TEL 024-525-4020
E-mail : info@machi-fukushima.jp

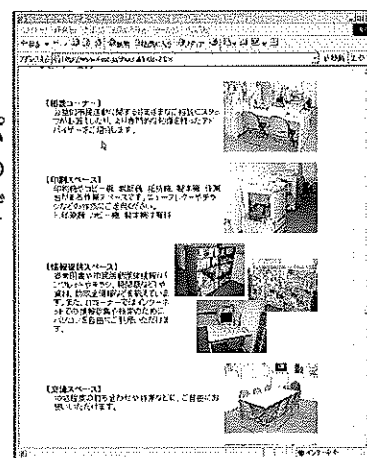


福島市市民活動サポートセンターから

◆ふくサポホームページ◆

今年度の「ふくサポ」からの情報発信は隔月発行の「ふくサポ通信」と、前年度後半からスタートしたホームページ。催事情報や最新の助成金情報などの支援情報を中心に掲示していきます。ぜひ、ご活用ください。

※詳細は <http://www.f-ssc.jp>
または下記までお問い合わせください。
TEL 024-526-4533 / E-mail : f-ssc@bz01.plala.or.jp



ふくしまNPOネットワークセンターから

◆お知らせ◆

以前よりご利用いただいております福島学院大学駅前キャンパスNPO実習室の貸し出しが、3月30日を持って終了いたしました。永らくご利用いただきありがとうございました。

詳しくは「ふくしまNPOネットワークセンター」までお問い合わせください。
TEL 024-528-1211 E-mail center@f-npo.jp

「のっぽの手」では誌面充実の為、理事、職員はもとより、会員様、各団体様よりの投稿をお待ち申し上げております。当センターへのご意見、日頃の活動に関する事、はたまた「よもやま話」などございましたらぜひ下記宛にお寄せいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

ふくしまNPOネットワークセンター事務局 <http://www.f-npo.jp/>
〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビルB1
TEL 024-528-1211 FAX 024-528-1218
E-mail center@f-npo.jp
福島市市民活動サポートセンター <http://www.f-ssc.jp>
ふくしま情報ステーション <http://www.machi-fukushima.jp/>

